



平成 30 年 8 月 10 日

各 位

会社名	東洋ゴム工業株式会社		
コード番号	5105		
代表者名	代表取締役社長	清水	隆史
問合せ先	取締役 常務執行役員	櫻本	保
	TEL (072) 789-9100		

特別損失の発生及び平成 30 年 12 月期 第 2 四半期累計期間の

連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 12 月期 第 2 四半期決算（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）において、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 30 年 5 月 11 日に公表した平成 30 年 12 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想と、本日公表の決算値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

平成 27 年 12 月期において、出荷していた製品の一部が国土交通大臣認定の性能評価基準に適合していない等の事実が判明いたしました。

当第 2 四半期決算において、状況が進捗し算定可能となったことにより、交換用の免震製品代金や改修工事費用 68 億 20 百万円、補償費用等 94 百万円、諸費用 25 億 68 百万円（主として、免震ゴム製品交換工事に係る保険料 約 12 億円、免震ゴム対策統括本部人件費等 約 10 億円、免震ゴムの交換用設備に係る費用等 約 3 億円）を計上した結果、108 億 44 百万円（製品補償対策費 23 億 12 百万円、製品補償引当金繰入額 85 億 31 百万円）を特別損失として計上しております。

現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用（主として、営業補償や遅延損害金等の賠償金、追加で判明する改修工事費用の金額が既引当額を超過する場合の費用等）がある場合には、翌四半期連結会計期間以降の対処進行状況等によって、追加で製品補償引当金を計上する可能性があります。

2. 平成 30 年 12 月期 第 2 四半期累計期間の連結業績予想値と決算値との差異（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (平成 30 年 5 月 11 日発表)	189,000	20,600	18,900	12,400	97.64
実績値 (B)	185,738	20,805	19,009	7,068	55.66
増減額 (B - A)	△3,262	205	109	△5,332	—
増減率	△1.7%	1.0%	0.6%	△43.0%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 12 月期 第 2 四半期)	192,041	21,834	18,695	11,076	87.22

3. 差異の理由

第 2 四半期累計期間につきましては、上記 1. で記載しております特別損失の計上のために、親会社株主に帰属する四半期純利益について、前回発表時（平成 30 年 5 月 11 日）の予想を下回ることとなりました。

以 上